

# 北松中央病院

## 第3期 中期目標 (概要解説)

Hokusho Central Hospital



# I 住民に提供するサービスなど

## 1 地域で担うべき医療

合併後、初めて佐世保市が策定する北松中央病院の中期目標では、佐世保市が病院に求める基本的な考え方を整理したうえで、特に今後3年間(H23～H25)における取り組みを記載しています。

<u>基本的な考え方</u>	<u>第3期中期目標</u>	
1 地域医療の提供	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地域の実情に応じた医療の提供</li><li>● 在宅への復帰支援</li><li>● 介護サービス</li></ul>	<p>診療科目等、内容の詳細は、病院が独自に判断し、体制を確保します。</p> <p>急性期・回復期リハを実施します。</p> <p>退院後の在宅介護を行います。</p>
2 救急医療の提供	<ul style="list-style-type: none"><li>● 救急医療</li></ul>	1次・2次救急(内科・外科)を担います。
3 4疾病5事業への可及的対応	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高度・専門医療</li><li>● 生活習慣病(予防)への対応</li><li>● 感染症医療・災害対策</li></ul>	<p>急性心筋梗塞・糖尿病に対応します。</p> <p>特定健診等、人工透析を行います。</p> <p>感染症、災害に備え、発生した場合は、適切に対応します。</p>

## 2 医療水準の向上

特に、医師不足が全国的に叫ばれる中、病院環境を整備することにより、医師から希望される病院を目指し、また、専門性等の向上により、医療水準そのものの向上を目指します。

### 第2期中期目標

特に記載なし

#### ● 医療スタッフの人材確保

#### ● 専門性及び医療技術の向上

#### ● 研究・治験・質の向上

### 第3期中期目標

診療環境を整え、医療スタッフが働きやすい病院にします。

スタッフ全員が質の向上に努めます。

研究・治験を行うと同時に、客観的データから科学的根拠に基づく質の高い医療の提供に努めます。

## 3 患者サービスの向上

患者サービスの向上については、第2期計画でも触れておりましたが、より一層の向上を図るべく、満足度調査の実施や待ち時間改善などを目標に明記しました。

### 第2期中期目標

● インフォームドコンセント

● セカンドオピニオン

● 安全対策

### 第3期中期目標

#### ● 待ち時間改善・院内快適性向上

待ち時間の改善、施設環境整備による快適性の向上に努めます。

#### ● インフォームドコンセント

患者中心の医療に努めます。

#### ● 満足度調査・職員接遇

患者満足度調査を行うと同時に、職員の接遇向上に勤めます。

#### ● 安全対策

安全対策を徹底します。

## 4 地域医療機関等との連携

地域の医療機関や、保健・福祉の各サービス実施主体との連携は不可欠です。第3期目標では、より具体的に地域における連携を図るよう要請しています。

### 第2期中期目標

- クリティカルパス
- 紹介率向上

### 第3期中期目標

#### ● 地域医療機関との連携

地域の医療機関との連携強化・機能分化を図り、その手段としてクリティカルパスを作成・適用します。

#### ● 地域医療への貢献

地域(住民・医療機関)を対象とした勉強会等を開催するとともに、各サービス主体と連携し、地域における役割を果たします。

## 5 市の施策推進における役割

公立病院としての大きな役割の一つとしては、市の施策推進に積極的に協力し、その実現に寄与することも含まれます。第2期目標には記載がなかったこの項目を、新たに追加しました。

### 第2期中期目標

特に記載なし

### 第3期中期目標

#### ● 市の保健・医療・福祉施策との連携

市の関連施策に積極的に協力します。

## II 業務運営における改善・効率化

### 1 効率的な運営体制

病院経営を効率的に行うため、いくつかのポイントを設け、経営全体がよい方向に向かうような目標を掲げています。

#### 第2期中期目標

- 長所を伸ばす
- 短所を克服

#### 第3期中期目標

- 事務部門の専門性向上
- 医療人材の育成

診療報酬制度に精通するなど、事務職員の専門性を向上させ、確実(有利)な収益や運営体制の整備に努めます。

看護学生等の受け入れや、職場環境の向上により、新たな或いは既存の人材の育成に努めます。

### 2 収益確保・費用節減

効果的な財務体質の強化のためには、具体的な目標が必要です。第2期目標では、組織再編や人事評価についても言及がありましたが、病院の独立性を尊重しこの記載を避け、より実務的な目標を設定しました。

#### 第2期中期目標

- 病床利用率
- 組織再編
- 人事評価

#### 第3期中期目標

- 収益の確保
- 費用の節減

病床利用率の向上はもちろんのこと、医療資源有効活用、診療報酬の確実(有利)な請求、未集金対策等を行います。

後発医薬品、材料の購入方法見直しなど、費用の抑制に努めます。

### III 財務内容の改善に関する事項

公立病院として、地域に密着した医療を安定的に提供し続けるためには、健全な経営基盤(財務体質)の強化が必要です。中期目標期間経過後の財務状況の目標を示します。

#### 第2期中期目標

- 損益計算での  
黒字

#### 第3期中期目標

- 経常収支比率100%以上

財務体質の強化を目指し、第2期では、損益全体で「黒字」としていましたが、第3期では、臨時的収入(費用)を勘案しない、通常の経営状態での黒字化を目指します。